

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

		基準年月日		令和5年8月1日	
調書番号	08-11	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局河川砂防課長 上前 孝之
				担当係	河川計画係（内）29-323

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	大規模特定河川事業費 広域河川改修事業費（社会資本整備総合交付金）							
ふりがな 地区名	こたんべつがわ 古丹別川	市町村名	苫前町	総事業費	6,600 百万円			
負担割合	国	55.0%	道	45.0%	市町村	—	その他	—
	3,630 百万円		2,970 百万円		— 百万円		— 百万円	

事業目的・目標	●古丹別川は、日本海に注ぐ二級河川であり、H26年(2014年)8月、H28年(2016年)8月の洪水により、家屋浸水などの被害が発生している。 ●このため、当該計画区間の河川改修事業に着手し、遊水地及び築堤の新設や河道の掘削による河積の拡大を行い、浸水被害の防止を図るものである。				
	【アウトカム】 等				

事業目的・目標	●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 23戸→0戸				
	●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積 191ha→0ha				

事業概要	当該計画区間（河口から上流8.4km地点から同23.5kmまでの15.1km区間）において、流下能力向上のため、遊水地及び堤防の新設並びに河道の掘削による河積の拡大を行うものである。	工事費内訳	計画流量 Q=410m ³ /s (440m ³ /s) (遊水地で調節を行わない場合の計画地点流量)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
				前回評価	今回評価	増減額
			計画延長 L=15,100m			
			築堤工 L= 3,500m	216	244	28
			掘削工 L= 9,400m	125	140	15
			護岸工 L= 3,700m	1,313	1,475	162
			遊水地 N= 2箇所	1,576	3,686	2,110
			附帯工事			
			取水工2基等	20	22	2
			測量設計費 調査・設計	164	947	783
			用地費及補償費 用地買収・物件補償	86	86	0
			計	3,500	6,600	3,100

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		生活・安全	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進（強靱化）

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P28】 (河川改修等の治水対策) 河道の掘削、築堤、放水路、ダム、遊水地の整備などの治水対策について、近年の大雨災害等を勘案した重点的な整備を推進する。
	関連する指標	-

II 公共事業評価経過

(単位：百万円)

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費 (a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)	
							3,500	1,575				
事前評価又は当初	H30 (2018)	H31 (2019)	H29 (2017)	H40 (2028)	5	事業費						
前回再評価												
今回評価	H30 (2018)	R1 (2019)	R5 (2023)	R14 (2032)			6,600	2,970	540	2,451	37%	

変更理由・内容 (概要)	(1)土砂運搬箇所の変更に伴う残土運搬距離の増による増額 (2)遊水地の背後から雨水の流入を確認したことによる、対策工法検討等の増額 (3)資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額 (4)残事業区間の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸
--------------	---

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	● H26年（2014年）8月 洪水被害が発生（浸水面積38.2ha、浸水家屋1戸） ● H28年（2016年）8月 洪水被害が発生（浸水面積46.6ha、浸水家屋1戸）
2. 事業検討の手續（住民への把握等）	● R1年（2019年）改修事業に着手
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	● 苫前町岩見地区、東川地区の農地 氾濫防止面積209ha（うち農地191ha）、浸水防止家屋23戸

4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費 (百万円)	事業内容

IV 事業の実施状況

(1) 事業実績及び今後の計画														
施工(工種)区分	工事内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	～	R10	～	R14	進捗状況	事業費(百万円)
築堤工	L=3,500m						≒150m			L=3,350m			7%	244
掘削工	L=9,400m						≒800m			L=8,600m			21%	140
護岸工	L=3,700m						≒100m			L=3,600m			1%	1,475
遊水地	N=2箇所		←				遊水地2箇所						42%	3,686
附帯工事	取水工2基等									取水工2基等			0%	22
測量設計費	調査・設計	←											81%	947
用地費及補償費	用地買収・物件補償	←	7件	→									100%	86

(2) 進捗状況

用地買収が終了。遊水地内の整備方針、操作規則の検討など遊水地に関する調査設計及び遊水地掘削を優先して進めている。遊水地掘削残土の運搬距離の増や遊水地内の施設検討に係る調査設計の増により事業費の見直しを行っており、事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことから事業期間を延伸したものの、今後も順調に進捗していく見込みである。

b

a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
項目	R5現在	項目	R5現在	<ul style="list-style-type: none"> ●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2(2020))に基づき算出 ●効果及び費用は、R5(2023)に現在価値化し、「整備期間+事業完了後50年間」で算出 ●効果は、洪水氾濫における直接被害額(家屋、公共土木施設、農地等)及び間接被害額(営業停止被害等)により年平均被害軽減期待額を算出 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる
洪水被害防止効果	17,423	建設費	5,522	
		維持管理費	80	
合計(B)	17,423	合計(C)	5,602	
B/C	前回算定年度 : H30年度(2018年度)【事前評価】 前回算定時B/C : 1.47 (B: 4,147 C: 2,820) 変更理由 :			
R5現在	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費の増額に伴う費用の増加 ・治水経済調査マニュアルの改定に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加 ・効果及び費用をR5(2023)に現在価値化したことなどによる。 ・完了予定年度の延伸に伴う効果及び維持管理費の増加 			
3.11				

取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
施工の最適化	工事で発生したコンクリート殻のかごマット等の中詰材への再利用	4
施工の最適化	建設発生土の有効利用	440

V 評価

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業は、苫前町岩見地区、東川地区の農地の浸水被害を防止するためのもの。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。
a	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。

2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向
	(3) その他の課題

● 現況の河岸や河畔林を極力保全する。
● 現況の滞筋を極力保全する。
※直近の評価以降における状況変化はない。

● 苫前町から事業の早期完成に向けて要望が出されている。
※直近の評価以降における状況変化はない。

● 特になし
※直近の評価以降における状況変化はない。

3. 事業達成の見込み	事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことにより事業期間を延伸したものの、今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはない。
a	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。

4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和14年度(2032年度)の完成を目指し、事業継続する。				
a	a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止				
事業期間変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無	有

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価：平成30（2018）年度評価 評価結果：要望を行うことは妥当 B/C=1.47 再評価：
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

補足資料

VII 事業計画変更

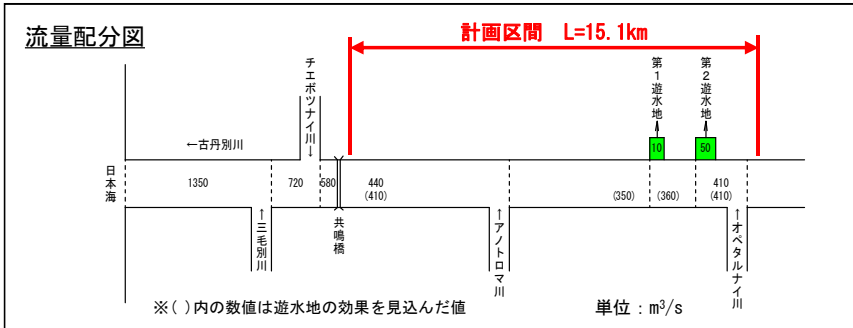
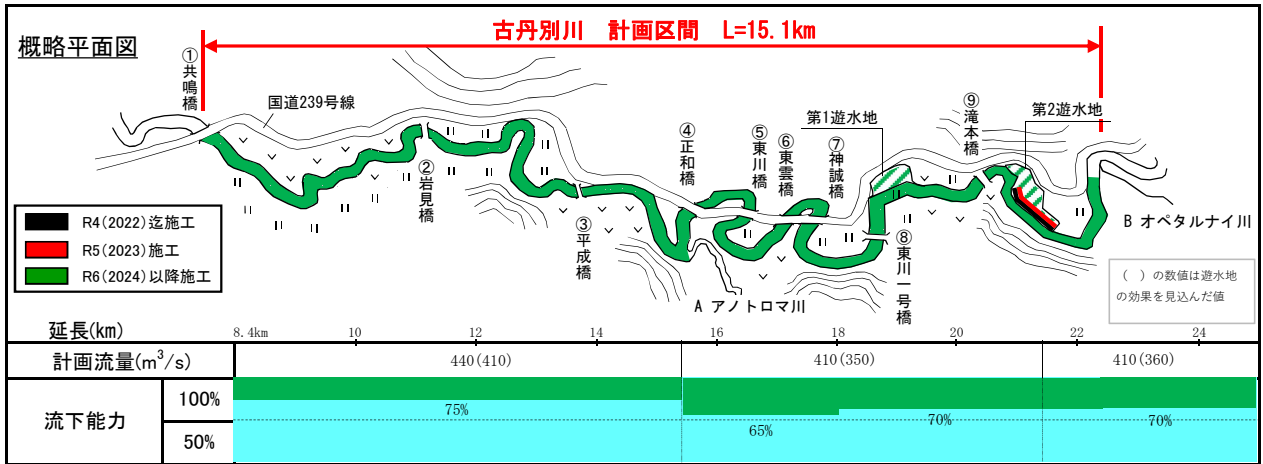
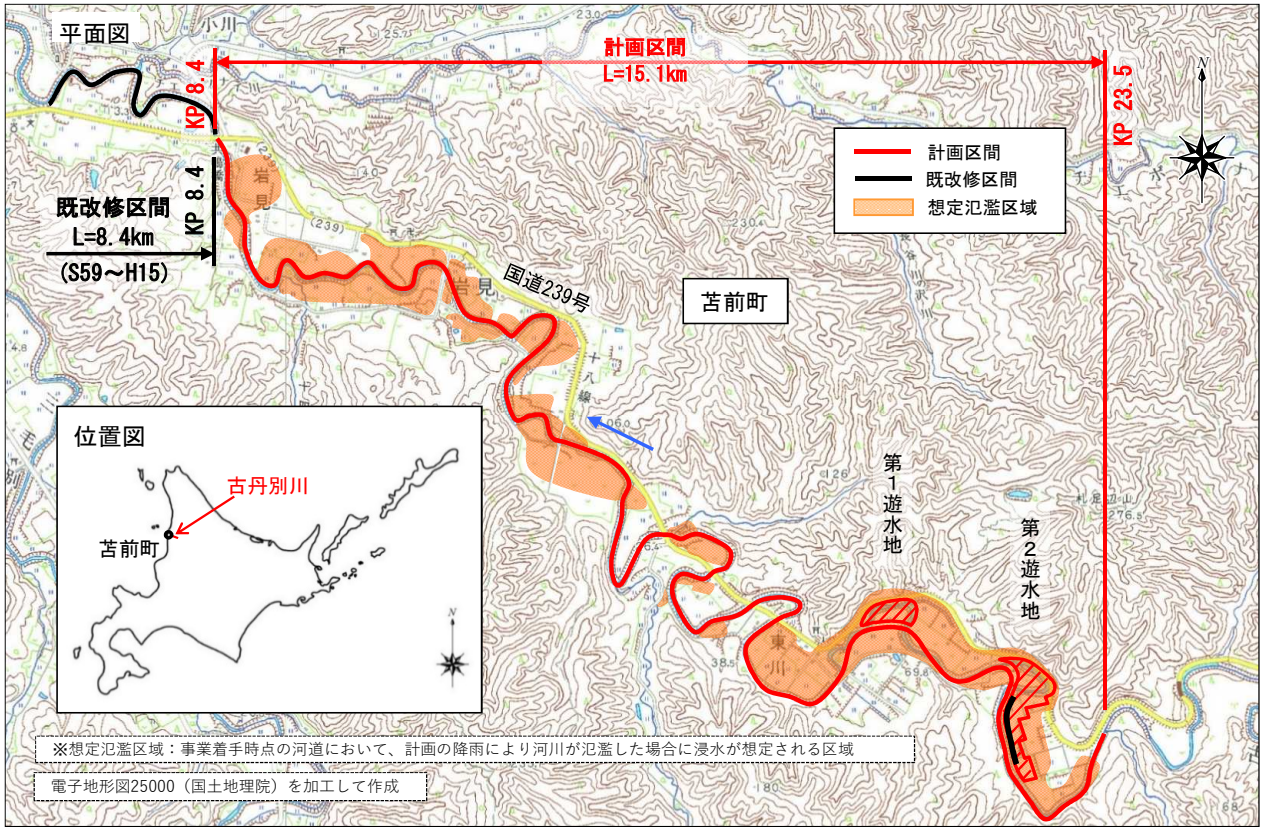
（単位：百万円）

事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度事 業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H30 (2018)	H31 (2019)	H30 (2018)		H40 (2028)	5	3,500			
変更①	1回目			R5 (2023)	R5 (2023)	R14 (2032)		6,600	540	2,451	37%
変更②											
変更③											
変更④											
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											

変更理由・内容	変更①：総事業費の変更 ・土砂運搬箇所の変更に伴う残土運搬距離の増による増額 ・遊水地の背後から雨水の流入を確認したことによる、対策工法検討等の増額 ・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額 ・残事業区間の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸
---------	--

事業概要図

事業名	大規模特定河川事業費 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	古丹別川	採択年度	H30 (2018)
-----	--	-----	------	------	---------------



流域面積	412 km ²
計画延長	15.1 km
氾濫面積	209 ha
計画雨量	150 mm/2日
計画高水流量	440 m ³ /s
計画勾配	1/650~1/500

